



新宿～高尾 全 22 駅のオドロキ情報満載



改訂版

中央線が好きだ。

magazine

vol.17 2018

青女歩の達人

Let's go to the CHUO LINE Station!

The 中央線 22 駅



- ① 沿線 祭り&イベントカレンダー
- ② NEWS / TOPICS
- ③ 中央線 NEO コミュニティ

青女歩の達人
スピンオフ

- ④ おやつマニア
- ⑤ 絶頂チェーン店

立川駅
他駅でも採用されている
発車音システム
「立川式」とは？

発車音は通常、ボタンを1回押すとメロディが流れ、もう一度押すと止まる仕組みだ。しかし、立川駅はちょっと特別。流れ始めたメロディはリピートして流れ、「ドアが開まります～」のアナウンスまでが1セット。これを「立川式」と呼び、相模線など中央線以外の駅でも採用されている。ちなみに1～8番線すべて別曲で、ほどよいエコーが心地よい。

西国分寺駅の「一番星みつけた」と「国分寺市の歌」

夕暮れの帰路に似合う「一番星みつけた」は、地元ゆかりの信時潔の作曲だ。階段上の武蔵野線の曲は、周辺の名所が歌詞に多数登場する「国分寺市の歌」。



八王子駅の「夕焼け小焼け」

八王子で生まれ育った作曲家の中村雨紅。生家近くの情景を歌った代表曲は、ストリングス、オルゴールなど、全6ホームごとに音色もアレンジもさまざまだ。



三鷹駅の「めだかの学校」

ラッシュ時も心が和む童謡の、上りホームは曲前半、下りは後半、1番線は中盤が流れる。合わせると一曲に。三鷹に暮らした作曲家・中田喜直の代表作。

Theme The 発車音

街にゆかりのメロディにのせて
中央線、さあ出発進行！

豊田駅の「たきび」

作曲家の巽聖歌が、晩年の25年間、駅の近くに暮らした縁で決定。上りと下りで音程が異なる2パターンで、市職員の演奏によるオルゴール調が耳に心地いい。



高円寺駅の「阿波おどり」

これまで「東京高円寺阿波おどり」が開催される8月限定だった阿波おどり調発車音が、平成28年(2016)の第60回記念大会を機に通年化。キラキラした音色に心も躍る。



阿佐ヶ谷駅の「たなばたさま」(ジャズバージョン)

七夕まつりにちなんだ「たなばたさま」は阿佐ヶ谷らしくジャズテイスト。しかもピアニストによるアレンジと演奏で、中央線・総武線の全4ホームで異なる。



大都会新宿から西へ西へ。のどかな自然と歴史を持つ中央線は、駅ごとに独自のカルチャーも発信。駅や街にまつわるトリビアも満載だ。

※平均乗車人員は2016年度のデータです。
※駅スタンプのカラーはデザインで加工しています。



武蔵境駅

開業年月日: 明治22年(1889)4月11日
一日の平均乗車人員: 67,667人
南へ3.5km。鬱蒼とした森のような「国立天文台三鷹キャンパス」では「50cm公開望遠鏡」を使っての観望会(要予約)も。



三鷹駅

開業年月日: 昭和5年(1930)6月25日
一日の平均乗車人員: 95,968人
作家・山本有三が家族と暮らし、代表作「路傍の石」を執筆した大正末期建築の洋館。
※3月下旬まで休館中。



吉祥寺駅

開業年月日: 明治24年(1899)12月30日
一日の平均乗車人員: 141,640人
井の頭公園の正式名称は「井の頭恩賜公園」。3代将軍家光命名の「井の頭池」でボートに乗り、水面から公園を彩る様を眺めたい。



西荻窪駅

開業年月日: 大正11年(1922)7月15日
一日の平均乗車人員: 44,477人
イネ科のオギも茂る「善権寺公園」は、武蔵野三大湧水池の一つ。上下2つの池を中心にした自然豊かなオアシスだ。



荻窪駅

開業年月日: 明治24年(1891)12月21日
一日の平均乗車人員: 88,288人
大正～昭和初期、西の鎌倉、東の荻窪と称された別荘地。「大田黒公園」は音楽評論家・大田黒元雄の屋敷跡を利用。



阿佐ヶ谷駅

開業年月日: 大正11年(1922)7月15日
一日の平均乗車人員: 44,666人
約2kmにわたる並木道は、ケヤキのトンネルが美しい。また、8月上旬に催される七夕まつりも賑やかだ。



高円寺駅

開業年月日: 大正11年(1922)7月15日
一日の平均乗車人員: 50,339人
60年余の歴史を持つ「東京高円寺阿波おどり」。毎年8月下旬の開催時には1万人が踊る中央線屈指の名物祭りだ。



中野駅

開業年月日: 明治22年(1889)4月11日
一日の平均乗車人員: 146,400人
内外の音楽シーンを牽引する「中野サンブラザ」と、新井薬師の通称で親しまれる「梅照院」。新旧の名所が共存する。



東中野駅

開業年月日: 明治39年(1906)6月14日
一日の平均乗車人員: 40,537人
中野との間、北側土手は中央線屈指の桜の名所。春爛漫の情景は息を呑む美しさ。老木の伐採も始まりリフレッシュ化も。



大久保駅

開業年月日: 明治28年(1895)5月5日
一日の平均乗車人員: 26,420人
ホームからも眺められる新宿副都心までは徒歩圏内。かつて見えていた富士山は、高層ビル群の向こうだ。



新宿駅

開業年月日: 明治18年(1885)3月1日
一日の平均乗車人員: 769,307人
開業当初の「新宿停車場」はのどかな情景だったよう。中央線原型の平武鉄道が接続したのは明治22年(1889)だ。



鉄道総合技術研究所 引込線跡 国立駅

短い線路と枕木、ゆるやかなカーブが残る通称「総研線」跡。今は「ポッポみち」と呼ばれる緑道だ。北へ進むと鉄道総合技術研究所の敷地に。北口から徒歩約2分。



Theme The 廃線探索

中央線から枝分かれしていた線路の跡を発見



かつての武蔵野競技場跡 三鷹駅

戦時中は軍需工場へ物資を運んだ引き込み線。昭和26年(1951)に敷き直し、工場跡に誕生した野球スタジアムまで観客を運んだ。「ごんなん橋」に土台が残る。北口から徒歩約15分。



境浄水場へつながっていた専用線 武蔵境駅

日本最大級の緩速濾過方式の浄水場へ、濾過用の砂を運んだ約1.5kmの線路跡。大正13年(1924)から昭和42年(1967)まで使われ、一部は緑豊かな散歩道に。北口から徒歩約5分。



ステンドグラスが美しい天井 大久保駅

北口改札で見上げれば、ステンドグラスが3枚、連なっている。高架駅となった昭和6年(1931)に設えられたようで、線路の合間から差し込む光が艶やかだ。



ホームの屋根は赤色 西荻窪駅

高架駅のホーム上屋屋根は、なんだか懐かしく愛らしい紅色。ホームから見上げてわかりづらいが、近くの建物階上から窓越しに見れば、空の青によく映える。

Theme The 駅舎景 風格、美観、親しみやすさ 街の風情を映し出す



素朴な入母屋造りの駅舎 日野駅

昭和12年(1937)の移転開業時と変わらぬ佇まい。この辺り、当時は多摩を代表する稲作地帯で、のどかな風景に馴染む駅舎をと、入母屋造りになった。



関東の駅百選にも選定。社寺造りの荘厳な駅舎 高尾駅

北口駅舎の選定理由は「高尾山の玄関口として親しまれている趣のある社寺風の駅」。大正天皇の大喪列車始発駅だった木造平屋を移築し、平成22年(2010)に改修した。



知る人ぞ知る待ち合わせ場所 新宿駅

東口・東口中央改札の間、山梨方面への特急電車乗り場近くに設けられた構内の広場。もたれられるバーがあり、隣接のアルプス化粧室も至便。山へ向かう人よ、集え!



小さなトリビア

言われて初めて気付く!? 駅にまつわるエトセトラ



地名の由来となった「オギ」荻窪駅

地名の由来となった荻は、イネ科ススキ属の多年草。かつては善福寺川に沿って多く群生していたとい。線路沿いの広場には植生されたオギが風に揺れている。北口改札すぐ。

駅の真下を玉川上水が流れる三鷹駅

羽村取水口から四谷大木戸まで約43km続く玉川上水。駅北側から駅下に潜り、斜めに横切って、南側の三鷹橋の手前(右写真)で顔を出す。太宰治の入水はもう少し下流だ。



高尾駅

開業年月日:明治34年(1901)8月1日
一日の平均乗車人員:29,071人
高尾山に古くから伝わる天狗伝説。御本尊の守り神として信仰されており、石像や御守りなど様々なモチーフになっている。



西八王子駅

開業年月日:昭和14年(1939)4月1日
一日の平均乗車人員:32,302人
西八王子〜高尾間の甲州街道沿い約4kmにわたって連なるイチョウ並木。黄金に染まる秋には祭りも催される。



八王子駅

開業年月日:明治22年(1889)8月11日
一日の平均乗車人員:85,093人
晩年八王子で暮らした武田信玄六女・松姫と、北条氏の支城だった未完の山城・八王子城。戦国時代の二大史跡が残る。



豊田駅

開業年月日:明治34年(1901)2月22日
一日の平均乗車人員:34,001人
豊富な湧き水が流れるせせらぎや、斜面に広がる雑木林など、自然を生かした親水公園。昔の駅名標とともに。



日野駅

開業年月日:明治23年(1890)1月6日
一日の平均乗車人員:27,312人
駅も町も「誠」で埋め尽くされる「ひの新選組まつり」のメインとなる「レード」参加隊士は一般公募される。



立川駅

開業年月日:明治22年(1889)4月11日
一日の平均乗車人員:165,645人
四季を通じて1日遊べる国営公園のシンボリック風景。大小5つの噴水が青空に映え、イチョウ並木が両側に。



国立駅

開業年月日:大正15年(1926)4月1日
一日の平均乗車人員:53,712人
解体された今もなお、親しまれている赤い三角屋根の旧駅舎。大正15年(1926)創建時の姿で再築をめざす動きも。



西国分寺駅

開業年月日:昭和48年(1973)4月1日
一日の平均乗車人員:29,300人
湧水が集まり野川へそそぐ清流沿いの遊歩道。「お鷹の道」の名は江戸時代に尾張徳川家の御鷹場だったことに由来している。



国分寺駅

開業年月日:明治22年(1889)4月11日
一日の平均乗車人員:111,679人
歴史政策のメッカ、武蔵国分寺跡の金堂・講堂跡の東に位置。10m四方の礎石建物で、高さ60mと推定。



武蔵小金井駅

開業年月日:大正15年(1926)1月15日
一日の平均乗車人員:61,035人
起源は江戸時代に遡る名勝「小金井桜」。一時衰退したが昭和25年(1950)の開業時に植栽し、1700本が咲き誇る。



東小金井駅

開業年月日:昭和39年(1964)9月10日
一日の平均乗車人員:30,502人
玉川上水北側に広がる巨大公園のテニスコートは、木立に囲まれた人工芝で16面ある。BBQ広場も近い。

小金井市民の願いが込められた駅 東小金井駅

費用を地元が全額負担して完成した日本初の請願駅。駅開設記念会館「マロンホール」前に、尽力者の宮崎金吉氏の胸像と記念碑が立つ。南口から徒歩約5分。



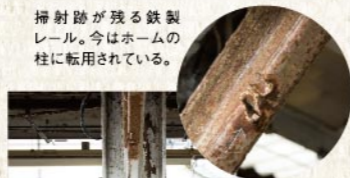
かつて滑走路として使われたという歴史もある駅前の道 国立駅

駅から南へ真っすぐのびる、超幅広の大学通り。まるで滑走路!と思ったら、昭和初頭には実際に滑走路として利用していたこともあるのだとか。



日本の標準時刻がここにある 武蔵小金井駅

日本の「とき」を決定する「国立研究開発法人情報通信研究機構」が市内にある緑で、南北自由通路に巨大時計を設置。ここで、正確な時刻合わせをどうぞ。



掃射跡が残る鉄製レール。今はホームの柱に転用されている。



「八王子千人同心屋敷跡記念碑」は北口から徒歩約12分。

駅構内に残る機銃掃射の跡 高尾駅

太平洋戦争末期の昭和20年(1945)5月、米軍艦載機による機銃掃射が貨車、駅舎を襲った。その銃撃痕が北口改札近くの1番ホーム上屋の支柱に生々しく残っている。



八王子千人同心の陣屋跡に立つ駅 西八王子駅

八王子千人同心は、滅亡した旧武田家家臣。徳川家康が取り立て、落城後の八王子城下警備に当たさせた。駅前に当時の様子がわかる説明板がある。北口改札すぐ。



中央線 ご当地みやげ

中央線の名所・名物の逸品をおみやげに

クランプウッズコーヒーファクトリーの「誠ラテ」 日野駅

地元出身の店主による、カフェラテ390円のラテアート。新選組六番隊にちなみ6種のブレンドも。改札口すぐ。7時〜10時・13時〜19時(土・日・祝は9時〜)。水休。日野市日野本町4-6-5



「国立天文台三鷹キャンパス」で買える「天文トイレットペーパー」 武蔵境駅

星の一生を印刷。敷地内の生協売店で販売する。1個226円。南口から小田急バス約15分の「天文台前」下車約3分。10時30分〜17時30分、土・日・祝休。三鷹市大沢2-21-1



「A.K Labo」の「はな子像サブレ」 吉祥寺駅

69歳で永眠した、井の頭自然文化園のはな子。北口の銅像をモチーフにしたライ麦入りのサブレは要予約。境浄水場サブレもあり。各270円。北口から徒歩約15分。11時〜17時、水・木休。武蔵野市中町3-28-11



「Ichigendoカフェ」の「高尾天狗パン」 高尾駅

天狗の焼き印がユニーク。発芽玄米の米粉パンはふかふかで、コーンフレーク入りきなこクリームはザクザクと歯触り絶妙だ。180円。北口改札すぐ。7時30分〜19時30分、無休。八王子市高尾町1201-2



中野の深い歴史

時代を反映し続ける駅北側の広大な用地



犬屋敷、軍事施設を経て都市公園に 中野駅

第5代将軍綱吉の時代に作られた広大な犬屋敷。戦前は陸軍中野学校、戦後は警察学校などに転用され、現在は親子で憩えるのどかな公園だ。北口から徒歩約4分。

「奥多摩そば」「清流そば」名物 おでんそば 立川駅

中央線は「清流そば」、青梅線・南武線は「奥多摩そば」と店名は違うが、全4店共通の人気メニュー。宮城県塩蔵直送のさつま揚げ、がんもどき、玉子各410円があり、追加140円で全部のせ(右写真)もOK。からしが合う。7時〜22時、無休。



ホーム上の立ち食いそば店では珍しい中華そば390円の取り扱いもあり。

駅の立ち食いそば

数ある駅そばの中の「オンリーワン」



沿線祭り&イベントカレンダー

[2018年2月~4月]

日	駅	イベント名	開催場所	問い合わせ先	内容
2月24日	武蔵境	第15回武蔵境 JAZZ SESSION	武蔵野スイングホール	武蔵野市観光機構 ☎0422-23-5900	地元のアマチュアや地域にゆかりのあるプロミュージシャンが出演。ジャズファンが多い武蔵野市ならではのイベント。
3月3-4日	三鷹	だるま市 (厄除元三大師大祭)	深大寺	深大寺 ☎042-486-5511	日本三大だるま市。だるまを中心に約300の露店が並び、買い求めただるまは催祭によって目入れしてもらうことも。
3月4日	八王子	HACHIDORI2018	JR八王子駅北口周辺	HACHIDORI フェスティバル実行委員会 ☎042-649-6331	17会場にて、八王子にゆかりのあるバンドを含む、100組を超えるバンドがライブを行うロックフェスティバル。
3月10-11日	高尾	第39回高尾梅郷まつり	西浅川町〜裏高尾町	高尾梅郷まつり実行委員会 ☎080-6758-1187	旧甲州街道沿いに点在する6つの梅林で約1万本の梅が咲き誇る。4つの梅林をめぐるスタンプハイクをはじめ、琴の演奏や野点も。
3月11日	高尾	高尾山火渡り祭	高尾山山麓 自動車祈禱殿前広場	高尾山薬王院 ☎042-661-1115	大勢の修験者が山伏姿で所願成就を祈りながら火の上を歩く。火渡りは一般の方も参加できる。13時〜。
3月16~31日	国立	Play Me, I'm Yours Kunitachi 2018	国立市内10か所	くにたち市民芸術小ホール ☎042-574-1515	世界を巡る英国人アーティスト、ルーク・ジェラムのアートプロジェクト。街中10か所に突如ピアノが出現する。16日には国立駅ほかでキックオフイベント、17日から設置。
3月18日	西荻窪	西荻ラバースフェス2018	杉並区立桃井原っぱ公園	西荻ラバースフェス実行委員会 ☎03-5941-7554	「西荻であいましょう」をテーマに、音楽ライブ、めしおぎ(飲食)、西荻名店街(物販)など、西荻の魅力にあふれた野外イベント。
3月21~28日	武蔵小金井	たてもの園フェスティバル	江戸東京たてもの園	江戸東京たてもの園 ☎042-388-3300	歴史的建造物が立ち並ぶ園内をめぐりながら、春の訪れを全身で体感できる野外イベントを開催。28日は入園無料。
3月31日~4月1日	武蔵小金井	第64回小金井桜まつり	都立小金井公園 (江戸東京たてもの園前広場)	小金井市観光まちおこし協会 ☎042-316-3980	約50種1700本の桜が咲く園内で、音楽演奏やダンス、和太鼓などのステージのほか、地元グルメが味わえる屋台も並び。
3月31日~4月8日	牛浜・鯉川・拜島	第35回ふっさ桜まつり	明神下公園ほか	ふっさ桜まつり実行委員会事務局 (シティセールス推進課内) ☎042-551-1740	永田橋から陸橋にかけて多摩川堤防沿いに約500本の桜が咲き、夜間はライトアップを実施。土・日は模擬店やお囃子も。
4月1日	三鷹	第26回武蔵野桜まつり	むさしの市民公園ほか	武蔵野桜まつり実行委員会事務局 ☎0422-60-1832	様々なステージのほか、友好都市の物産販売や地元商店会の出店など。約1kmの桜並木が続く中央通りではパレードも。
4月6~8日	中野	第32回中野通り桜まつり	新井薬師公園ほか	新井区民活動センター運営委員会 ☎03-3389-1310	特設舞台では歌や和太鼓、エイサーなどを開催。8日には、サンパザ付近から公園まで盛大なパレードが行われる。
4月7-8日	国立	第41回くにたち さくらフェスティバル	谷保第三公園	実行委員会事務局(国立市まちの振興課内) ☎042-576-2111	歌やダンスのステージのほか、子ども向けにミニSLやジャンボバルーン、防災体験なども開催予定。模擬店も出てにぎわう。
4月13日	武蔵小金井	はげの森をめぐる旅	野川・武蔵野公園を中心に 小金井市内南側	小金井市観光まちおこし協会 ☎042-316-3980	中央線南側地域、野川のしだれ桜をテーマにした回遊イベント。小金井の街をのんびりお散歩しよう。
4月15日	高尾	高尾山春季大祭	高尾山薬王院	高尾山薬王院 ☎042-661-1115	特別開帳大護摩供のほか、境内に祀られている天狗に子どもの成長を願って稚児行列(十一日屋菜より出発)が行われる。

今回のおやつ かりんとう

特産品を使ったり、健康志向だったり。定番おやつも今やバラエティに富んでいる！

お茶店が考えるお茶請けの菓子



黒糖かりんとう
「金子園」[高円寺]

日本茶とのりの専門店が生んだオリジナル商品。黒糖らしい深い甘みと昔ながらの味がまさにお茶請けにぴったりで、一口サイズということもあり、つい食べ進んでしまう。1袋145g248円。JR高円寺駅北口から徒歩約2分。10時~20時、元日休。杉並区高円寺北3-22-14 ☎03-3330-0361

大豆のおからが栄養たっぷり!



おからかりんとう(ごま)
「とうふ屋らご」[西荻窪]

サクッと軽い食感や、国産小麦と丸大豆のおからが醸す穏やかな味わいが好印象。たっぷりのゴマが香ばしい。他にもゆず味、ねぎみそ味など、種類豊富だ。1袋130g350円。JR西荻窪駅北口から徒歩約13分。11時~17時45分、日・月・祝休。杉並区上荻4-26-11 ☎03-3399-1338

ピリッと辛く、刺激的な多摩銘菓



武蔵野とんがしかりんとう
「ハイナン焼きショロンポー」[武蔵境]

表面に赤く見えるのは、地元農家が作る「境のとんがし」。販売するのは薬膳料理店で、その辛口カレーにも同じ唐辛子を使うのだとか。武蔵境活性化委員会が企画。1袋55g330円。JR武蔵境駅北口から徒歩約3分。10時30分~21時、木休。武蔵野市境2-3-1 ☎0422-37-0539

NEWS/TOPICS

武蔵小金井駅

「ムサコガーデン」4月中旬オープン

武蔵小金井駅西側高架下に nonowa武蔵小金井「ムサコガーデン」が4月中旬にオープン。飲食店やホームファッションストアなど4店舗が新たに開業するほか、緑あふれる回遊歩行空間「のみち」や大屋根下のイベントスペース、家族で楽しめる公園も誕生する。教室や講座などを開催する「Room635」では、4月11日より子ども向けロボットプログラミング教室「プロラボ」も開校。

オープン日◎4月中旬 場所◎武蔵小金井駅nonowa口すぐ ☎042-316-4417

中央線・青梅線などの23駅

「名探偵コナンスタンプラリー」開催

コナンをはじめとするキャラクターのオリジナルスタンプが設置された23駅から異なるスタンプを5つ集めてゴールの立川駅に行く「5駅スタンプラリー」をプレゼント! 開催期間◎3月25日 スタンプ設置時間◎9時30分~18時 詳しくは「名探偵コナンスタンプラリー」 検索

八王子駅

「やまなし桃の花産直市」開催

山梨の観光PRのほか、「セレオ八王子」、「やまたまや」などで物産展も実施。3月1-2日(各日10-14時)には桃の花枝の配布も。開催期間3月1~5日 場所◎八王子駅改札外コンコースほか

吉祥寺駅

「ジェクサー・ライドジム吉祥寺店」ニューオープン

いつでもトレーニングが楽しめる本格的なジムが駅徒歩10分の紀ノ国屋吉祥寺店2階にオープン。早朝から深夜まで営業、仕事の行き帰りなどに気軽に立ち寄れるのがうれしい。オープン日◎1月15日 営業時間◎5時~26時、不定休。☎0422-67-9219(11時~20時)

立川駅

「中央線新型特急車両E353系展示会」開催

昨年12月にデビューした中央線新型特急車両E353系の展示会を立川駅の青梅線ホーム2番線で行う。開催日◎3月3日 時間◎11時30分~14時(予定)

最新号「散歩の達人」3月号 (2月21日発売予定)

巻頭特集「わざわざ訪ねたくなる酒場案内 街に酒場あり。」

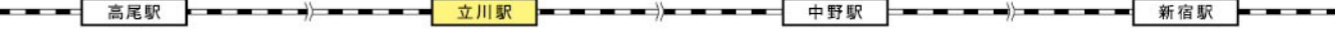
散歩の醍醐味の一つが「酒場」。どの街にも地元の人々に愛されてきた酒場がある。本特集では、都内でも注目の酒場密集地帯や、沿線別の名酒場案内、ちょっと足を伸ばしても訪ねてみたい酒場を紹介。さらに、クラフトジンや杜撰がおいしい酒場など、酒場遊びに便利な企画も満載。●桃源郷のような名酒場へ/沿線別名酒場リレー(京急線:京急川崎~杉田、京浜東北線:川口~大宮)/いま注目の酒場密集地帯(三鷹ほか)/進化するピストロ屋酒屋/「流し」のいる風景/日本酒とつまみのいい関係 ほか

※本冊子の情報は2018年2月現在のものです。※料金・営業時間・休園(館)日、イベント内容・期間などは変更になる場合がありますので、事前にご確認ください。※営業時間・休園(館)日はゴールデンウィーク、お盆、年末年始などは変更になる場合があります。※掲載の写真・地図などは全てイメージです。

デジタルブックでもご覧いただけます。 中央線が好きだ。 検索

公式アカウントでも情報発信中! @chuosuki @chuosuki

中央線が好きだ。マガジン 2018 vol.17 2018年2月発行 発行|東日本旅客鉄道株式会社 八王子支社 制作|株式会社JR中央ラインモール 株式会社ジェイアール東日本企画 編集|株式会社交通新聞社



【JR東日本リテールネット】
株式会社JR東日本リテールネット(本社:東京都新宿区)。JR東日本の鉄道駅を中心に、NewDays約500店舗、NewDays KIOSK約300店舗を展開。オリジナルブランドにも定評がある。「NewDays立川店」では中央特快グッズ、青梅特快グッズ、新あずさE353系グッズ、中央線限定特快便グッズ5個入りなども扱う。



通勤ラッシュの喧騒の中、春の新芽を思わせる緑色の看板が、ひととき眩しく見える。新しい1日の始まりを告げるような、NewDays(ニューデイズ)の看板が。2001年に誕生したNewDaysの前身は、駅の売店「KIOSK」。ITを駆使したPOSレジでは従来の販売員の職人技の如きスピーディな会計処理がなされ、目を見張るものがある。いくなれば秒の世界で戦うコンビニのハイブリッド。さらに女性客にも利用しやすい品揃えを意識した「NewDays KIOSK」というマイクロコンビニの開発促進にも余念がない。まさに「新しい日々」。

展開の規模は全国1万店を優に超える大手コンビニチェーンに対し、NewDaysはわずか約500店舗ほど。それでも1日の来客数は大手をしのぎ、1日の平均売上高は1店舗あたり50万円以上と、業界トップクラスにも引けを取らない。それが「新しい日々」。

この強さの秘密は何なのか? まずはKIOSK譲りの回転率の

展開の規模は全国1万店を優に超える大手コンビニチェーンに対し、NewDaysはわずか約500店舗ほど。それでも1日の来客数は大手をしのぎ、1日の平均売上高は1店舗あたり50万円以上と、業界トップクラスにも引けを取らない。それが「新しい日々」。

そしてまた新しい1日が始まる。希望の朝を彷彿させる、緑色の看板のお店から。

また、利用客の流れをスムーズにするために、Suica専用のセルフレジを積極的に導入している点も数秒間を無駄にできないエキナカならではの工夫だ。

オリジナル商品の開発が盛んなところもポイント。調理パン「Pa-nest」シリーズや、種類豊富なおにぎり、クレープをはじめとしたスイーツなどは、季節ごとに新商品が発売されるので、マンネリはなし。さすが「新しい日々」。

さらに「コラボや周年記念といった、期間限定グッズが頻りに登場するのも特徴だ。人気の鉄道関連グッズは、ファンならずとも思わず手が伸びるわけで、結果、気づいた頃には完売ということが頻りに起こる。限定商品を手に入れるなら、公式Twitterで情報をチェックすればいいのだが、筆者は日々の出会いを大切にしたいので、直接店に足を運んでチェックする。これぞ「新しい日々」。

文井村瀬秀信

絶頂チェーン店

中央線

俺が愛する駅の味

第5回 NewDays

むらせひでのぶ◎1975年神奈川県出身。「それでも気がつけばチェーン店ばかりでメシを食べている」(交通新聞社)が発売中。嬉しい思い出がある駅は阿佐ヶ谷。

